

お知らせ
Information

第9回 東山免疫膠原病フォーラム

詳細は別紙をご覧ください。

- 日時 2021年2月27日(土) 15時45分～17時45分
- 会場 TKP京都四条烏丸カンファレンスセンター 2Aホール

第22回 東福寺消化器フォーラム

詳細は別紙をご覧ください。

- 日時 2021年3月4日(木) 19時～20時40分
- 会場 ホテルグランヴィア京都 5階「竹取の間」

ホットラインのお知らせ

緊急の患者搬送依頼はホットラインにお電話ください。
 担当の医師が直接対応いたします。

※必ず医師からご連絡ください。

- 脳神経・脳卒中科 080-8300-3009
- 心臓血管外科 090-7365-5211
- 循環器内科 090-5975-7754



絆

東山長老
 後別

京都第一赤十字病院

き す な

人道と奉仕の赤十字精神に基づき、
 患者さまにとって安心できる
 適切な医療を行ないます。

新春号

2021年2月発行
 vol. 78

Contents

診療科のご紹介	2,3
病診連携懇話会開催報告	4,5
入退院支援センターサテライト兼抗原検査センター開設	
Best [ベスト] Doctors [ドクターズ] に選出されました	6
外来完全紹介予約制のご案内	7
インフォメーション	8

年末年始にかけましては、新型コロナウイルスの院内感染のため業務制限を余儀なくされ、多くの皆さまに多大なご迷惑をおかけしましたことを陳謝申し上げます。

新規入院患者および疑わしき者全員に抗原定量検査またはPCRを施行できる体制を整え、感染対策を徹底して1月中旬より新たにスタートしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、冬季の罹患率の高い時期になりましたが、非常事態宣言でもコロナの感染は簡単に収まらず、今後ワクチン接種の混乱が予想されるなど、まったく先が読めない状況となりつつあります。WITHコロナ

を進める中、一部の医師だけでなく全ての医師が総合診療医として感染対策と診療に関与する必要があること、一医療機関だけでなく地域全体での取り組みが求められていること、WEB会議等いろいろ手を尽くしてコミュニケーション不足を補う必要があることなど、痛感しております。長期化の覚悟も必要ですので、“サステナビリティ”が大きなテーマです。

地域の人々の命と健康を守るため、皆さまと連携し、丑年らしく一歩ずつ着実に歩を進め、この難局を乗り越えて参りたいと思いますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

診療科のご紹介

・呼吸器内科 ・呼吸器外科

Introduction of clinical department



【診療スタッフ 敬称略】

前列左より、(呼吸器内科)辻 泰佑、弓場 達也、(呼吸器外科)上島 康生、(呼吸器内科)平岡 範也、内匠 千恵子、塩津 伸介
中列左より、(呼吸器外科)中園 千晶、(呼吸器内科)松山 碧沙、菅 佳史、藤井 博之、合田 志穂、大村 亜矢香
後列左より、(呼吸器外科)亀山 堅司、(呼吸器内科)田中 駿也

呼吸器内科

部長 | 平岡 範也

今年度、呼吸器内科スタッフは、部長 平岡範也(S60年卒)、副部長 辻泰佑(H17年卒)、大村亜矢香(H26年卒)、化学療法部部長 内匠千恵子(S63年卒)、同副部長 塩津伸介(H13年卒)、感染制御部部長 弓場達也(H11年卒)と共に運営しており、専攻医として、合田志穂(H28年卒)、松山碧沙(H28年卒)、藤井博之(H28年卒)、菅佳史(H29年卒)、田中俊也(H30年卒)が所属しております(原稿記載時)。

専攻医の先生方は、内科学会専門医プログラムに属しており、卒後3年目から5年目の間の1年間は他施設で研修が義務付けられているため、ご紹介いただいた患者様の担当医が毎回異なることもあるかと思いますが、内情お察しいただきご容赦いただければと存じます。

さて昨年は、新型コロナに振り回された年になり、いろいろなどところにご迷惑をおかけしました。改めてお詫び申し上げ、ご協力いただいた方に深謝いたします。

当院では新型コロナ感染患者を受け入れながら、救急医療を継続するという課題を掲げ、昨年未だで運よく単発的なコロナ患者の発生があったもののクラスターになることはありませんでした。しかし、12月末に1病棟を閉鎖せざるを得ないクラスターが発生し、職員・患者様あわせて30名以上のコロナ感染者が発生しました。呼吸器内科スタッフも小生以外全員隔離となり、当科開設以来最大の危機状態となりました。

当院は災害拠点病院でもあり、従前より非常時でも診療体制を維持すべく「事業持続性：サステナビリティ」を意識して対策しておりましたが、今回のような事態は想定されておらず、目の前のあまりの課題の多さに思考停止状態になってしまいました。幸い大学医局からの医師臨時派遣や、退職者のスポットサポートの申し出を受け、関係各位のご協力

で終息することができました。

このような状況は、どこの医療機関でも今後起きる可能性があると思います。小生が今回の局面を乗り切るために必要と考えたことは以下のとおりです。まず優秀な職員がいると、どうしてもその人に頼りきりになりますが、コーディネータープレイヤー(ポリバレンタ)な人材を作っておくことです。また診療録に当面の問題はもちろん、今後のプラン等第三者が見ても継続診療可能な記録をつける習慣をつけておくこと。さらに、医師会や大学医局、個人的なお付き合いを通じてお互いの危機に対して相互補助しあえる状況を医療機関内・外を通じて構築しておくことです。目の前の患者様がおられる状況で、診療できない、転院させようにも診療情報提供もできない等の最悪の事態は避けなければなりません。幸い今回は、以前当院で研修を受けた医師が、電子カルテの扱いや当院のシステムを理解していたため、迅速に作業を進めてくれました。いくら感謝してもきれいなほどです。

今回の経験から痛感したことをまとめると以下の通りです。

- ①日頃から相互補助のできるシステムを構築しておく(院内・院外とも医療職以外の事務部門等を含めて)
- ②診療録等の記載を、第三者が見て理解できるようにしておく
- ③業務のマニュアル化・活字化(どこにあるのかわからないようなものや、理解するのに時間のかかる複雑なものは緊急時に役立つ)

今回の災禍は、昨日の知り合いを明日の友としてくれる機会を与えてくれました。これを契機に、これまで以上に皆様と共に医療連携が少しでも充実していけばと願っております。どうか今後ともよろしく願い申し上げます。

【卒業年】
昭和60年

【専門領域】
呼吸器全般、救急領域

【認定医・専門医等資格名】
日本呼吸器学会指導医、
日本内科学会認定内科医、
日本内科学会総合内科専門医

呼吸器内科 診察出番表	月	火	水	木	金
再診 (予約)	弓場(午前) 合田(午後)	内匠	辻	平岡	塩津
再診 (予約)	大村(午前)	弓場	松山(午前) 大野(午後)	菅	藤井
新患・対診	平岡(1・3・5週) 藤井(2・4週)	松山	塩津	辻 菅(午前)	大村(1・3・5週) 合田(2・4週)

呼吸器内科

副部長 | 辻 泰佑

この度呼吸器内科副部長を拝命いたしました辻泰佑と申します。平成17年関西医科大学卒業、その後関西電力病院で初期研修を行い、後期研修を含め近畿中央呼吸器センターで9年間勤務しておりました。

現在当科は中等症以上のCOVID-19入院症例に対応しております。第3波に突入し、感染者数は増加の一途をたどっておりますが、その中で如何に通常通り呼吸器診療を行っていくのか

が非常に重要と考えております。当科は一致団結しCOVID-19も含め、すべての呼吸器疾患に今まで以上にしっかりと対応していきたいと思っております。

私個人としては、びまん性肺疾患、特に間質性肺炎診療を中心にお役に立てるように努力してまいります。まだまだ未熟者です。ので何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【卒業年】
平成17年

【認定医・専門等資格名】
日本呼吸器学会専門医・指導医
日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本呼吸器内視鏡学会専門医
日本結核病学会結核・抗酸菌病認定医
日本がん治療認定機構がん治療認定医

呼吸器外科

部長 | 上島 康生

病診連携の先生方にはいつも大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

新型コロナの拡大で、大変な毎日をお送りのことと拝察いたします。

呼吸器外科は肺、縦隔、胸壁、横隔膜などの疾患を扱っています。手術数は増加傾向にあり、原発性肺癌は100例/年を超えてきました。

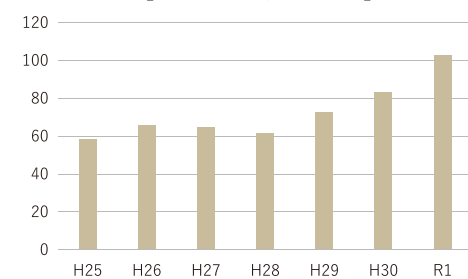
最近の呼吸器外科領域の話題の一つはロボット支援手術で、今後の発展が期待されます。当院でもこれまでに25例のロボット支援肺癌手術を行いました。ロボット支援手術にはメリットとデメリ

ットがありますが、実際に行ったところでは、従来の胸腔鏡手術に比べて精密な手技ができる、術後疼痛が少ないなどのメリットがあると思います。

また、進行癌については薬物療法の進歩があり、集学的治療が重要になっていきます。呼吸器内科、放射線治療科とのチームワークで一人でも多く治癒していただけるように頑張りたいと思います。

これからも、よろしく願い申し上げます。

【原発性肺癌手術数】



【卒業年】
昭和61年

【専門領域】
呼吸器外科

【認定医・専門等資格名】
日本外科学会専門医
日本胸部外科学会指導医
呼吸器外科専門医

日本呼吸器外科学会評議員
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
京都府立医科大学臨床教授

呼吸器外科 診察出番表	月	火	水	木	金
一診				上島	
二診				中園	

病診連携 懇話会

開催報告

【日時】
令和2年10月8日
18:00~

【場所】
ハイアットリージェンシー
京都

【プログラム】18:00~

「新しい医療の取り組み」

「学校検尿と小児腎疾患について」
小児科部長 西田 眞佐志

「眼科における画像診断機器の進歩」
眼科部長 小泉 閑

「COVID19診療の実際」
感染制御部長 弓場 達也

「今年度の体制について」
院長 池田 栄人

■令和2年度病診連携懇話会 開催報告

令和2年10月8日(木)にハイアットリージェンシー京都にて当院主催の病診連携懇話会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年7月に開催していたものを延期し、コロナ情勢下ですが、少しでも顔を合わせて情報交換ができるよう会場参加者の人数を大幅に制限して感染対策を徹底するとともに、Zoomを使用したオンラインでの参加にも対応するためハイブリッドでの開催としました。

結果、会場参加者42名(院外23名、院内19名)、オンライン参加者32名の計74名が参加され、懸念された大きなトラブルもなく盛況の裡に無事終えることが出来ました。

今回は「当院における新しい診療」をテーマに新任部長よりご講演いただき各施設から「貴院の熱意が伝わるすばらしい内容でした。」「会場での対面が難しい状況の中開催いただきありがたい。顔を見ながらお話しできるのはやはり非常に有意義でした。」など高評価なご意見をいただき、院外のオンライン参加者からも「今までのWEB視聴で一番聞きやすかった。」とありがたいお言葉もいただき、地域医療の促進に繋がったかと感じます。

これもひとえにご多忙の業務を調整し、病診連携懇話会にご協力、ご参加頂きました皆様方のおかげだと改めて感謝申し上げます。また、ハイブリッドでの開催にあたり有用であったと感じたことに加えて院外からの継続希望もあり、今回の課題を活かし今後より良いものにできたらと思います。来年度以降もさらに有意義な会となるよう努めていきたいと思っております。今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携課 地域医療連携係長 | 山本 真弘

■学校検尿と小児腎疾患について

学校検尿は学童の腎疾患の早期発見、早期治療を目的として1974年からわが国で開始され、今や45年以上の歴史を持つ世界に類のない検診制度です。その背景として、当時年間50日以上の長期欠席者の原因疾患として腎疾患が1位になったことがあります。学校検尿による腎疾患の早期発見により、IgA腎症を始めとする小児の慢性糸球体腎炎の予後は劇的に改善しました。その成果により、現在小児人口あたりの小児末期腎不全の発生率はわが国は世界で最も低く、米国の1/4となっています。当院小児科では、京都市における学校検尿異常児の精密検査医療機関として、腎生検を含む検査、治療を行っています。また腎機能が低下すると成人期に心血管系疾患など腎疾患以外による死亡頻度が高くなるのが指摘され、慢性腎臓病(CKD)という概念が提唱されています。成人期におけるCKD対策として、小児期CKDの早期発見、さらにCKD予備軍の早期発見が重要であり、当科では腎予備能検査などの腎機能検査も積極的にを行っています。今後ともご支援ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

小児科部長 | 西田 眞佐志

■眼科における画像診断機器の進歩

眼科領域での画像診断機器の進歩は早く、新しい装置の出現が日常診療のあり方を変えてしまうこともあります。本年度に当院眼科に導入されたZeiss Clarus 700 広角眼底撮影装置もそのような機械の一つです。従来の眼底カメラの画角が45°前後であったものが133°に拡大され、糖尿病網膜症や網膜中心静脈閉塞症など、眼底の広い範囲に所見を認める疾患では写真一枚に十分な情報が記録されることとなります。被験者として撮影されている感じはフラッシュが光る一瞬のまぶしさのみで、これは今までの眼底カメラと変わりません。しかし、実際はその一瞬の間に三色のLED光が眼底を広く走査して詳細な情報を撮像しています。撮影時の瞳孔径も2.5mmあればよく、自動車でも来院された方でも眼底チェックを行うことが可能です。病診連携、院内の他科連携の際にも非常に有用で、しかも将来的にはAI診断にも応用可能と考えられます。患者さんご紹介の際、眼底撮影像の必要な際にはぜひご依頼ください。

眼科部長 | 小泉 閑



HOSPITAL & CLINIC COOPERATION

Japanese Red Cross
Kyoto Daiichi Hospital



■入退院支援センターサテライト兼抗原検査センター開設

当院では、B棟7階に「入退院支援センターサテライト兼抗原検査センター」を開設し、1月12日より全ての入院患者様に対して入院当日に抗原定量検査を行っています。B棟7階への順路は他の方と接しないよう直通的のエレベーターとしています。受付後、直ぐに鼻腔より検体採取を受けてから待合室で待機して頂き、約1時間で結果が出ます。陰性を確認された患者様から順次ご案内し、入院して頂いています。即日入院患者様やリニアック通院患者様にも対応しています。抗原定量検査はPCR検査と結果に殆ど乖離は無く、信憑性の高い検査です。新型コロナウイルス感染拡大の収束はまだまだ目途がたっておらず、患者様が安心して治療を受けられるよう院内感染対策を強化して行きます。



看護部 副部長 | 中津 みつる

新任紹介をさせていただきます

副院長
沢田 尚久

院長補佐
平岡 範也

院長補佐
谷口 史洋

院長補佐
木村 浩之

院長特任補佐
高階 謙一郎

小児科部長
西田 眞佐志

眼科部長
小泉 閑

感染制御部長
弓場 達也

糖尿病・内分泌内科副部長
岩瀬 広哉

消化器内副部長
藤井 秀樹

呼吸器内科副部長
辻 泰祐

今度とも
よろしく
お願い
いたします。



内山 人二 血液内科部長が 【ベスト】 【ドクターズ】 Best Doctorsに 選出されました。



血液内科部長 内山 人二がベストドクターズ社より
医師同士の相互評価によって「Best Doctors Japan 2020-2021」に選出されました。
ベストドクターズ社の名医選出方法は、医師に対して
「もし、自分や大切な人が、自分の専門分野の病気にかかった場合、
自分以外の誰に治療を委ねるか」という観点から、他の医師についての
評価を伺うことで進められ、最終的に調査結果から一定以上の評価を得た医師を
名医 (Best Doctors) に認定するというものです。
現在、世界中で約53,000名以上の医師が名医として認定されており、
日本では約6,500名が認定されています。
(医師数は2020年3月現在)

血液内科部長
内山 人二

[卒業年]
平成元年
[専門領域]
血液内科
[認定医・専門等資格名]
日本内科学会総合内科専門医、指導医、認定内科医
日本血液学会認定血液専門医、指導医
日本造血細胞移植学会認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本透析医学会専門医、指導医
Infection Control Doctor
近畿血液学地方会評議員
京都府立医科大学 臨床教授
京都府立医科大学 客員講師

ベストドクターズ公式サイト | <http://bestdoctors.com/japan/>

Dr. Hitoshi Uchiyama

Japanese Red Cross Kyoto Daichi Hospital

外来完全紹介予約制のご案内

当院では地域医療支援病院としての機能を一層強化するため、整形外科をはじめとした
完全紹介予約制を平成26年3月から実施させていただいているところであります。

改めて完全予約制の診療科をお知らせいたします。

- 糖尿病・内分泌内科
- 脳神経・脳卒中科
- 消化器外科
- 心臓血管外科
- 婦人科（産科を除く）
- 心療内科
- 腎臓内科・腎不全科
- 放射線治療科
- 血液内科
- 呼吸器内科
- 肝臓・膵臓外科
- 整形外科
- 眼科
- 小児外科
- 呼吸器外科



Guidance

初診患者さまをご紹介いただく際には、地域医療連携室へのFAX予約をご利用のうえ
ご予約いただき、紹介状（診療情報提供書）持参のうえ受診されますようお願い申し上げます。

紹介状をお持ちであっても予約をお取りいただけていない場合は、

当日の診療状況により長時間お待ちいただくか、

もしくは後日に予約をお取りしたうえで改めてお越しいただく場合がございます。

また、紹介状（診療情報提供書）のない患者さまは原則診療出来かねますので、

ご留意いただきたく存じます。

なお、完全予約制でない診療科においても円滑な医療連携を行うため、

新患ご紹介の際には、FAX予約にご協力をお願いいたします。

誠にお手数をおかけしますが、何卒ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

地域医療連携室

[直通] TEL (075)-533-1280

[直通] FAX (075)-533-1282

24時間対応

◎ご予約いただく際の紹介患者様診察申込票は当院ホームページの「紹介患者さまFAX予約システム」の頁に
PDFデータを添付しております。ダウンロードしてお使いいただけます幸いです。